

## 「生活困難を抱える男女」ヒアリング調査の概要について

## 1. 調査の目的

生活困難に直面している男女（主に女性）が抱える困難の実態や背景、支援ニーズ、施策の課題について把握するために、支援機関・団体等を対象にヒアリング調査を行う。特に、既存の統計情報等では把握できない実態や、女性あるいは男性であるがゆえに抱えやすい問題を探るため、可能な限り個別ケースについての聞き取りも含めて、定性的な状況把握を中心とする。

## 2. 調査対象

生活困難に直面している男女（特に女性）に対して具体的な支援活動を展開し、その実態や背景、支援ニーズ等について詳細に把握していると考えられる支援機関・団体等（25団体程度）

公的機関と民間機関の双方を含め、地域性に配慮して選定。

## 3. 調査の方法

訪問によるヒアリング調査を行う（調査会社に委託）。

調査時期：平成20年12月～平成21年1月

## 4. 調査内容

## (1) 貴所における支援をめぐる全体的な状況について

- 機関の概要
  - ① 設立年月、スタッフ人数
  - ② 主な活動内容
  - ③ 貴所に対応された相談・支援の実績
- 支援の対象となる人々の現状と背景について～全体的な傾向として
  - ① 支援の対象となる方が抱えている問題（どのような問題が多いか）
  - ② 支援の対象となる方々の背景事情（どのような事情が絡んでいることが多いか）
  - ③ 支援の対象となる方々の特徴、背景事情などで最近変わってきたと感じること  
※女性（あるいは男性）ならではの状況や背景事情の違いに留意して聴取。
- 支援の現状と課題について
  - ① 行っている支援の概要
  - ② 支援にあたって留意している点
  - ③ 支援を取り巻く環境について、近年変わってきたと思われること
  - ④ 困難を抱える方への支援にあたっての課題
  - ⑤ 運営資金の調達に関する現状と課題

## (2) 個別の事例について

可能な限りにおいて、典型的な個別の事例（1～3事例程度）の情報提供を依頼。

- ① 相談・支援内容
- ② 問題の背景
- ③ 具体的支援内容
- ④ 相談者のプロフィール
- ⑤ 相談者の状況、背景など